

日野市高齢者福祉総合計画(素案) パブリックコメント結果報告書

「日野市高齢者福祉総合計画(平成24年度～平成26年度)」の策定にあたり、広く市民の皆様の意見をお聞きし、より良い計画とすべく、計画の素案についてパブリックコメントを実施しました。

その結果について、以下に報告します。

1. 実施期間

平成24年1月1日～1月20日

2. 周知方法

- (1) 市の広報紙である「広報ひの」の平成24年1月1日号に掲載しました。
- (2) 市のWEBページに平成24年1月1日から掲載しました。

3. 素案の掲示方法

- (1) 市のWEBページに、平成24年1月1日から同年同月20日までの間、電子データを掲示しました。
- (2) 高齢福祉課窓口、支所、出張所、市内の各図書館に、閲覧用の素案を掲示しました。

4. 市民説明会の開催

開催日	開催場所	参加者数(人)
平成24年1月11日	福祉支援センター	13
1月12日	平山季重ふれあい館	11
1月13日	ひの社会教育センター	10
1月14日	日野市役所5階505会議室	13
合計		47

5. 意見の表明方法

- (1) 市民説明会での意見表明
- (2) 郵送
- (3) ファックス
- (4) 電子メール
- (5) 高齢福祉課窓口(電話)での意見表明

6. 意見の件数等

表明方法	件数(件)	表明者数(人)
市民説明会	77	47
郵送	26	14
ファックス	9	4
電子メール	35	6
窓口	2	2
合計	149	73

※ 市民説明会の表明者数は、市民の参加者数とする。

7. 意見の概要と市の考え方

今回のパブリックコメントでは、非常に多くのご意見をいただき、また多くの方に市民説明会にお越しいただきました。日野市における今後の高齢者福祉の在り方について、非常に強い関心を寄せていらっしゃる事が、ご意見からも窺われます。

中でも特にご意見が多かった事項について、次のとおりご報告します。

(1) 介護保険料の値上げ幅の抑制について

介護保険料の改定については、非常に多くのご意見をいただきました。今後の年金支給額の減額への不安や国民健康保険料の増額改定等の理由から、介護保険料の値上げ幅の抑制を要望されています。

【市の考え】

適正な介護保険料額の設定に向け、慎重に検討を進め、計画に反映します。第5期(平成24年度～26年度)における介護保険制度の安定的な運営、更には第6期における基盤整備の可能性も考慮し、介護給付費準備基金の活用等を図ることで、値上げ幅を抑制したいと考えています。

(2) 特別養護老人ホーム等施設の充実について

特別養護老人ホームの待機者の解消について、多くご意見をいただきました。施設整備のご要望は、ショートステイ、認知症グループホームについてもいただいています。

【市の考え】

特別養護老人ホームの入所待機者の解消は、市としても重要な課題であると認識しています。特別養護老人ホーム、ショートステイ及び認知症グループホームの新設については、計画の中で重点事業と位置付けています。

(3) その他

以上の2つのご意見を突出して多くいただきましたが、その他にも、介護人材の充実、住宅関連施策全般について、パブリックコメントの手法に関するもの等、様々なご意見をいただきました。

【分類別意見数】

分類	件数(件)
介護保険料の改定	45
特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、ショートステイの整備	14
介護人材確保	8
基本理念	6
居住安定確保計画	5
意見募集日程・手順、周知方法	13
その他	58
合計	149

8. 所管部署

日野市健康福祉部高齢福祉課

【ご意見・回答一覧】

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
1	計画全般	関連計画	54	高齢福祉総合計画なので、高齢者のことが中心だが、高齢化が急速に高まる中で少子化が進む、結婚しない人が増えている。先々のことも考えて長期の計画で高齢化と少子化をあわせて考えなくてはならない。若い人を呼び込む、住みやすいようにする、職場を呼び込むというが見えるようにしてほしい。	上位計画である日野市基本構想・基本計画(2020プラン)は、少子高齢化を策定の時代背景としています。高齢化と少子化は、日野市はもちろん日本社会が向き合う最大の課題であるという認識です。部門計画である本計画では、高齢者福祉施策の展開を取り上げることになります。若年層が子育てをしやすい環境づくりなどの少子化への対応については、主に子ども部で策定する部門計画「ひのっすくすくプラン」で施策展開を行います。 本計画においては、関連計画との調和を意識しています。「地域での支え合い」などは、少子化への対応、高齢化への対応に共通するテーマと考え、本計画に盛り込まれています。	基本方針「持続可能な支え合いの仕組みづくり」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
2	計画全般	関連計画	54	今回の日野市高齢者福祉総合計画は①日野市介護保険事業計画と②シルバー日野人安心いきいきプラン③高齢者居住安定確保計画を統合して策定したとされているが、既に実施されて来た、①日野市介護保険事業計画と②シルバー日野人安心いきいきプランの主な課題はどのような内容であったのか、その対策が日野市高齢者福祉総合計画にどのように展開されたのか。	第4期の介護保険事業計画では、とくに取り組むべき課題として、(1)地域包括支援センターの見直し、(2)特別養護老人ホームの整備、(3)特定高齢者等への介護予防事業の普及、(4)介護人材不足への支援、の4点を掲げ、充実を図って来ました。 シルバー日野人安心いきいきプランでは、とくに取り組むべき課題として、健診事業、運動事業、介護予防、生活支援、権利支援、地域における社会参加、地域包括支援、地域での見守り、計画の点検、という9点の課題を掲げ、充実を図って来ました。 日野市高齢者福祉総合計画では、日野市介護保険事業計画とシルバー日野人安心いきいきプランの基本理念を引き継いで策定していますが、課題については、そのまま継承するのではなく、アンケート調査の結果により把握した現在の課題について、取り組むこととしています。	「高齢者福祉推進の主要課題」を参照してください。	Eメール	1月19日	V

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
3	計画全般	基盤整備・財政状況	-	長期的な必要インフラの予測について 例えば最も必要とされている特養老人ホームとその整備に依存するショートステイに関して、第2章で詳細に把握された実態等をベースに、平成27年、平成32年、平成37年のそれぞれの年度での概ねの整備必要数を、まずは現時点での予測として数値化し、次にそれを整備するに必要な財政等の諸条件を予測しておくことは、日野市としての高齢者福祉計画の方向性を明らかにする上で必要ではないか。その上で、当面する期間において、様々な制約条件が明らかにされ、現実的な計画が立案・提案されるという形が、日野市と市民が協働して実現していくために必要なのではないか。	本計画の計画期間は平成24年度から26年度までの3年ですが、長期的視点の必要性については認識しています。本計画から取り組む「地域包括ケアシステム」の構築は、団塊の世代が後期高齢期を迎える2025年(平成37年)を目標年次とされています。 高齢福祉に関する財政状況の見込みについては、平成37年度までの展望を記載しています。介護基盤整備、保険料設定への影響など第6期(平成27年度～平成29年度)の計画も見据えています。	個別の事業費としては取り上げておりませんが、高齢福祉関係費の現状及び見込みについては、「② 高齢福祉関係費(一般会計)の推移」を参照してください。	Eメール	1月20日	W
4	計画全般	大規模団地高齢化	-	URに住んでいて、自治会でも高齢化が問題となっている。説明会も開き、実態調査も綿密にされていて安心しているが、そういうものをもう少し盛り込んで欲しい。	URの大規模団地で高齢化が進んでいます。住民の危機感も高く、自治会など地域住民を担い手とする支え合いの取り組みが、他に先駆けて始まっています。本計画にもこうした取り組みに対する市の支援を盛り込んでいます。	「5. 地域における支援協力体制の確立」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
5	第1章 2. 計画の位置づけ	関連計画	4	関連計画で障害者福祉計画を策定したとなっているが、まだ策定中ではないか。	本計画は3月に策定する予定なので、策定しましたと書いています。現在は策定中です。	「2計画の位置づけ」「(2)他計画等との関係」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
6	第1章 4. 計画策定の体制	意見募集日程・手順、周知方法	7	介護保険運営協議会の委員の全体人数と市民委員の人数を教えてください。	計画に記載します。	「(2)日野市介護保険運営協議会委員名簿」を追記します。	説明会	1月13日	説明会出席者
7	第2章 1. 人口・世帯等	介護予防	15	高齢者人口の推移ですが、75歳以上の比率が約45%と約5割ですが、日野市の計画としてはこのままで推移すると考えて、医療費が掛からないような方策をどのように考えられているのか。	別の推計では、75歳以上の高齢者の比率は今後も上昇し、2018年頃に65～74歳の比率を上回る見込です。介護費、医療費の予防を通じた抑制が必要です。健康維持・介護予防の取り組みについては、事業の79～101に位置づけています。	「3. 介護予防・健康保持の推進」を参照してください。	Eメール	1月19日	V

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
8	第2章 1. 人口・世帯等	認定率への質問	15,16	本誌、16ページの介護保険サービスの利用者数の推移について 15ページの第1号被保険者数の推移と比率を計算してみると、65～74歳の人が平成24年から約5%と増加している。介護保険サービスの利用者数の増加が原因なのか、教えてほしい。またその理由も教えてほしい。 【計算方法】(介護保険サービスの利用者数)÷(第1号被保険者数)	提示された数字は、第1号被保険者のうち要支援・要介護認定を受けている人数の割合(認定率)です。65歳から74歳までの層で認定率が上昇しているのは、第4期事業計画期間の実績ベースでの上昇を勘案して数を見込んでいるからです。その背景としては、独居・高齢者のみ世帯比率の上昇、介護予防への取り組み意識の高まり、地域包括支援センターの周知が進んだことなどにより、要介護認定に至る割合が増えるものと見込んでいます。	「(2)介護保険サービスの利用者数」の「①要支援・要介護認定者数」のグラフ「■要支援・要介護認定者数の推移」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
9	第2章 2. 日常生活の状況	実態調査	-	年金生活者の実態を、もっとつかんでほしい。	本計画の策定にあたっては、高齢者世帯の主な年金や、所得状況を含め広範な調査を実施しました。計画書には一部のみを抜粋して掲載しています。	「(仮称)日野市高齢者福祉総合計画策定のためのアンケート調査報告書(平成23年3月)」参照。	FAX	1月20日	C
10	第2章 2. 日常生活の状況	実態調査	-	(仮称)日野市高齢者福祉総合計画策定のためのアンケート調査の調査結果を生かしてほしい。	調査結果については、分析を行い、主要課題の把握のために活用しました。また、一部を計画書中に抜粋しています。計画策定とは別に、今後も活用していきたいと考えています。	「8. 高齢者福祉推進の主要課題」を参照してください。	郵送	1月20日	Z
11	第3章 1. 目指すべき姿	基本理念	54	介護に困っている人が多くいる。そのために命を絶ちたいと口にしていても何人もいる。市民の一人一人の命を数字で見るとは、文化的なことも必要かもしれないが、こうした命を大事にし、助けるべきではないか。	本計画の「目指すべき姿」「基本方針」は、ご意見に沿ったものになっています。 目指すべき姿「いつまでも安心して暮らせるまち 日野」の実現を目指し、基本方針の一つとして「持続可能な支え合いの仕組みづくり」を据えました。家族だけでなく、地域、保険制度、更には行政で支え合う仕組みづくりに取り組んでいきます。	「目指すべき姿」及び「基本方針」を参照してください。	郵送	1月17日	P
12	第3章 1. 目指すべき姿	基本理念	54	”住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる”は一番大切な理念である。「誰でもが」と、理念の中に掲げてほしい。	基本理念の設定について、策定委員会で活発な議論が行われました。この理念の主語は、省略されていますが、日野市の計画であるので、「日野市の高齢者の誰もが」ということとなります。	「目指すべき姿」及び「基本方針」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
13	第3章 2. 基本方針	基本理念	20,54	<p>感想として、20ページの主な介護者の年齢のデータを見て愕然としました。今まで、話として老老介護の話は聞いていましたが、75歳以上の高齢者が介護をしている現実が34%もあることを知り、私も間もなくこの数値の中に入るのかと思うと一抹の寂しさを覚えます。</p> <p>私の近所の人で最近亡くなられた方は私より若く、脳こうそくで倒れられ6年半も病院並びに施設を転々として、お世話になりました。そして、最後の何年間は意識がなく、植物人間として生きてこられました。非常に難しい問題ですが、家族の方は亡くなられてほっとされているようです。これが現実です。</p> <p>私は家族に対して、意識が無くなった場合は、延命処置はしないでほしいと、言っています。人間の尊厳死も基本方針に基づき、◎高齢者の尊厳の保持に繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>また、介護に携わっておられる方々の努力(本報告書より)にも重ねてお礼申し上げます。間もなく私も宜しく願います。私のような頼りない爺は排除されるのではないかと心配しています。</p>	本計画の「基本方針」の1番目に「高齢者の尊厳の保持と自立の支援」を上げています。介護保険法の理念・目的である「高齢者の尊厳の保持」とは、「高齢になっても、介護が必要になっても自らの意思で、自分らしく生きること」とされており、これを日野市の高齢福祉の基本としています。	「基本方針」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
14	第3章 2. 基本方針	基本理念	54	<p>共助の体制づくり、環境づくりに向け、市民参加を促す施策の実現に努めてほしい。</p>	<p>高齢者を含めた市民の参加が互助・共助の体制作りには欠かせません。本計画では「基本方針」の3番目に「持続可能な支えあいの仕組みづくり」を上げています。</p> <p>事業として102～125を位置づけています。</p>	「基本方針」及び「4. 高齢者の社会参加の促進」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
15	第3章 2. 基本方針	基本理念	54	<p>基本方針にある、互助と共助とは何か。</p>	<p>「互助」とは、近隣の助け合い等のインフォーマルな相互扶助、「共助」とは、社会保険のような制度化された相互扶助をいいます。</p>	コラム「役割分担の考え方」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
16	第3章 2. 基本方針	施設利用	54	私などはサークルを通して、健康づくりに励んでいるが、色々な施設を使わせて頂いているが65歳以下の若い人と同じ様に市の施設の使用料を払っているが、一つも高齢者の尊厳の保持と自立の支援を受けているとは思はないが如何なものか。	施設の利用については基本的に受益者負担を求めています。福祉センターの利用に当たっては減免の規定があります。施設利用申請手続きの利便性向上については全庁的な課題として検討中です。	福祉センターについては、事業「111 福祉センターの運営」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
17	第3章 2. 基本方針	目標値設定 介護予防	79～101	日野市高齢者福祉総合計画の具体的な目標値を設定してほしい。 例えば(介護保険サービスの利用者数の比率が)65～74歳の方は2%以下、75歳以上の方には5%以下と目標値を設定して、具体的な対策を立て、実行していくことが、高齢者に対する医療費(介護予防の推進)の低減につながると思われるが如何か。折角、素晴らしい報告書が作成され、これらをまとめられた、関係者の苦勞に感謝します。	本計画の策定に当たっては、各事業ごとに可能な限り目標を数値化することとしています。ご意見にある、サービス利用者の比率については目標としての数値化は行っていません。介護費、医療費の抑制については、基本方針3「持続可能な支えあいの仕組みづくり」に基づく事業の79～101に位置づけています。	各事業の目標値については、第4章「高齢者福祉施策の展開」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
18	第3章 3. リーディングプラン	介護家族への支援	57	家族介護支援策を抜本的に強めることが必要。 増え続ける要介護者は家族介護に頼らざるを得ないのが現状である。家族介護者に対する支援策の抜本的な改善なしには、この介護保険制度そのものが立ちいかなくなるだけでなく、家族崩壊、家族の人間性まで壊されてしまう。解決のためには、ショートステイなど、家族を介護から切り離すことが必要。	家族介護者への支援は重要なものと考えています。特に、認知症の高齢者を介護している家族への支援については、リーディングプランの1つに位置づけ、レスパイトケアにつながる施策(ショートステイ)の充実、家族会等負担感の軽減を図る施策を検討しています。	リーディングプラン「④ 認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	郵送	1月20日	Z

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
19	第3章 3. リーディングプラン	基本理念	54～58	<p>リーディングプランについて聞きたい。「現状と課題」の分析を踏まえ、基本方針に基づきとあるが、◎高齢者の尊厳の保持と自立の支援、総合的な視点による高齢者福祉施設の展開、持続可能な支え合いの仕組みづくりとこのリーディングプランとの結び付きがピンとこない。私自身、既に後期高齢者になっているが、この基本方針は身体が動かず、介護が必要になった高齢者に適用されるものですか、元気な高齢者には適用されないものなのか？</p>	<p>本計画の体系は、先ず「目指すべき姿」「基本方針」が理念としてあり(P54)、その下に125の事業が置かれています(P61-63)。</p> <p>一方、日野市の高齢者福祉には、アンケート調査を通じて把握された5つの課題が存在します(P51-53)。リーディングプランは、この課題を解決し「目指すべき姿」を実現するために、集中的・重点的に取り組むべき領域ということになります。「基本方針」は、本計画の柱となる理念ですから、リーディングプランを実施する上での理念的なバックボーンと言えます。</p> <p>本計画は、要介護高齢者の支援だけではなく、高齢者の社会参加や住環境の整備など広く高齢者福祉施策を捉えています。基本方針の3番目に「持続可能な支え合いの仕組みづくり」を置いています。若年層はもちろん高齢者の参加による地域の支え合いを進めるという大きな方向性を示しています。</p>	<p>「高齢者福祉推進の主要課題」、「目指すべき姿」、「基本方針」及び「リーディングプラン」を参照してください。</p>	Eメール	1月19日	V
20	第3章 3. リーディングプラン	施設医療対応 介護医療連携	56	<p>医療的対応の必要な要介護者の施設受け入れの実態調査を実行計画に入れて、実施し、対策を練ってほしい。</p> <p>その際、施設関係者から、「断った事例」と「受け入れ可能にするために必要と思う対策」などの項目を、調査されたうえで、個別の事例を検討されると、事情が詳しくわかるのではないかと思います。</p> <p>現状で、インシュリン注射・酸素吸入・痰の吸引・じょくそう・警官栄養・認知症の高額薬剤使用中など医療的処置の必要な要介護者の場合、受け入れる施設の不足や条件の未整備のため、家族がたいへん苦勞しているという話をよく聞きます。</p> <p>リーディングプランの中で「介護と医療の連携をすすめる」ことが課題に挙げられているので、期待しているが。</p>	<p>医療と介護を必要とする在宅高齢者を支援するためにリーディングプランのひとつとして「介護と医療の連携を進めます」を位置づけました。今後の検討課題としていきます。</p> <p>また、医療的対応の必要な要介護者を、特養、老健などの施設で受け入れる体制づくりの必要性も認識しています。施設の現状その他の実態把握を行った上で、介護職員に対する研修等の支援事業を検討します(事業69)。</p>	<p>リーディングプラン「②介護と医療の連携を進めます」及び事業「69 医療行為研修の環境整備支援」を参照してください。</p>	Eメール	1月20日	S
21	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	安心サポート	68	<p>日野市には「安心サポート」という素晴らしい施策があるので、さらにこの「安心サポート」を充実させてほしい。所得制限の緩和、利用限度時間の拡大をお願いする。</p>	<p>安心サポート事業は、低所得者に対するセーフティーネットとして実施しています。必要性の有無、他の社会資源の活用等を検討し、真に必要な方に対して支援できるよう制度設計をしていきます。</p>	<p>事業「ひとり暮らし高齢者等安心サポート事業」を参照してください。</p>	Eメール	1月20日	T

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
22	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	介護家族への支援	80	亡くなるときは家庭でという人が多いが、介護をしている家族への支援も必要と考える。	家族支援は、在宅生活を支えるための主要課題であると認識しています。リーディングプランの一つに「認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくる」をあげ、できるだけ在宅で生活できるよう支援策を検討していきます。	リーディングプラン「④認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
23	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	介護報酬改定	67	生活援助の時間が削られるとのことだが、詳細を教えてほしい。	生活援助の時間短縮については、国で検討中です。厚生労働省の定める基準について疑問点もあるが、それを踏まえて対応せざるを得ません。	記載なし	説明会	1月11日	説明会出席者
24	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	介護報酬改定	67	生活援助について、平成24年度からも今までどおりサービスが受けられるのか。国の基準はいつ決定するのか。	生活援助の時間短縮については、国で検討中です。介護報酬の算定については、介護保険制度の中で、厚生労働省の定める基準に基づき対応していきます。	記載なし	説明会	1月12日	説明会出席者
25	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	居住安定確保計画	81～83	親を医療・介護連携型高齢者専用賃貸住宅に入所させることができた。資金は持ち家を売却することで用意できたが、自分が80歳で同じ状況になったとき、自分は財産を持っていないし、障害を持った子供の世話と生活で手一杯のため、安心して生活できるか不安である。人間らしい生活ができる社会にするための努力をしてもらいたい。	様々な問題をもつ、色々な状況の方がいらっしゃいます。市内の地域包括ケアシステムの整備を進め、バランス良く対応していきたいと考えています。そのために、住宅施策に関しては、高齢者居住安定確保計画を、今回の計画の中で新たに策定しました。	第6章「安心して暮らせる居住の確保(日野市高齢者居住安定確保計画)」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
26	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	グループホーム整備・特養整備	64,65	グループホーム、特養の充足率はどうなっているのか。 また、利用料が高いと聞いている。所得の低い方は入れるのか。	グループホーム整備率(定員総数÷高齢者人口)は約0.17%(H24.1.1現在)、市部の平均は0.21%(H23.4.1現在)。特養の整備率(H24.3.31見込)は約1.2%、南多摩圏域平均は約1.7%、都平均は1.4%です。 所得の低い方が特別養護老人ホームに入所する場合、介護保険制度上、負担軽減措置が講じられています。	記載なし	説明会	1月14日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
27	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	グループホーム整備・特養整備	65	特別養護老人ホームおよび認知症グループホームの整備について、待機者解消にふさわしい規模の増設計画としてほしい。 理由：『素案』は、特別養護老人ホームを1か所、認知症高齢者グループホームを2か所それぞれ新規に増設するとしており、市民の願いを反映したものと評価するものである。しかし、特別養護老人ホームの入所待機者は500人にのぼっており、認知症高齢者グループホームの待機者や潜在的な需要もかなりの数にのぼると見込まれる。実態から見れば、まだこれで十分とはいえない。	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。 グループホームについても、2か所の新設を計画に位置付けております。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」及び「4 認知症対応型共同生活介護」を参照してください。	Eメール	1月20日	U
28	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	サービスの充実	—	安心して高齢者が生活できるように、必要な介護サービスの充実を求めます。	利用者の増加を見込みサービス量を確保するとともに、施設の新規整備も図ります。	充実する事業については、「第4章 高齢者福祉施策の展開」において、方向性を「拡充」と表記しています。	郵送	1月14日	I
29	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	サービスの充実	—	日野市高齢者福祉総合計画(概要版)の2ページの要支援、要介護認定者に対するサービス供給量は、平成23年で見てみると、5ページの区分で分類し判断すると現在の程度充足されているのか、例えば先日の説明会では特別養護老人ホームの申し込み者(待機老人)、が500名で最優先の人が250人とのことだったが、その他の施設についてはどの程度の人が待機しているのか、何処にも入所出来ない人は自宅介護と考えて良いのか。	要支援・要介護認定者のうち、継続的にサービスを利用している方は8割程度です。介護施設は、介護ニーズの高い方のために整備されています。 特養待機者のうち3割が自宅で生活されていますが、そうした方に対する訪問介護や通所介護等の居宅系サービスは必要な分のサービスが提供されていると考えています。	「② 介護保険サービスの利用者数」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
30	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	ショートステイの充実	72	2か月前にショートステイに申し込んだが断られたという話も聞いているが、本当に対応できるようになっているのか。もっと確保できるようにしてほしい。	申込者の身体状況によっては利用ができないこともあります。また、利用希望日が集中し利用できない場合もあります。特養新設の際はショートステイの枠についても確保していきます。	事業「25 短期入所生活介護(福祉系施設のショートステイ)」及び「26 短期入所療養介護(医療系施設のショートステイ)」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
31	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	ショートステイの充実	72	ショートステイは家族のレスパイトとしても更なる充実が必要だと思う。 民間業者に期待するということも聞いたが、日野市の施策として充実させてほしい。	ショートステイの充実は、在宅生活や家族介護者を支えるための重要課題であると認識しています。施設整備のみならず、緊急時や医療行為の必要な方への対応が円滑に進められる仕組みづくり等のソフト面での方策も必要と考えています。第5期事業計画において重点事業として取り組んでいきます。	事業「25 短期入所生活介護(福祉系施設のショートステイ)」及び「26 短期入所療養介護(医療系施設のショートステイ)」を参照してください。	Eメール	1月20日	T
32	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	ショートステイの充実	72	ショートステイの受け入れ枠を増大してほしい。 理由:介護者の負担軽減にとって重要な役割を担っているショートステイについて、拡充の方向性を示されていることは評価できる。しかし、現在、「2か月前に予約を入れても空がないということで断られた」という深刻な実態がある。福祉系施設における受け入れ枠の一層の拡大をはかってほしい。また医療行為が必要な方に対する受け入れ枠を拡大するためとして、「補助金投入等新たな事業を検討する」ことを打ち出しているが、早急な具体化をお願いしたい。	ショートステイの充実は、在宅生活や家族介護者を支えるための重要課題であると認識しています。施設整備のみならず、緊急時や医療行為の必要な方への対応が円滑に進められる仕組みづくり等のソフト面での方策も必要と考えています。第5期事業計画において重点事業として取り組んでいきます。	事業「25 短期入所生活介護(福祉系施設のショートステイ)」、「26 短期入所療養介護(医療系施設のショートステイ)」、「27 老人保健施設ベッド確保事業の検討」及び「28 医療機関ベッド確保事業の検討」を参照してください。	Eメール	1月20日	U
33	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	食費居住費の独自補助	65	グループホームの家賃、食費代に市の補助を検討してほしい。	グループホームは、認知症の高齢者が協力して生活する場となっており、家賃、食事代については、実費相当の負担となっています。市独自の補助は、在宅生活を行っている方との公平性の保つためにも、難しいと考えています。	記載なし	説明会	1月14日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
34	第4章 5. 地域における支援協力体制の確立	大規模団地高齡化	100	百草団地は高齡者が多い。これは、子どもが親の介護が大変なので同居せず、高齡者を団地に居住させている、又は民間の住宅には入居が難しいので、URの団地に入居する、ということが背景にあるのではないかと。高齡者の最後の住処はUR団地ということになり、この地域の高齡化はどんどん進んでしまう。対応をもっと考えてほしい。	百草団地における地域の皆様の見守り活動の拠点となっている「ふれあいサロン」の店舗借上げ費用の負担など、できる支援は進めていきたいと考えています。また、民間の賃貸住宅の空き家を活用するため、入居保証人の問題等の解消できる仕組みなどを作りたいと考えています。	事業「58 民間賃貸住宅への入居支援」、「106 高齡者の交流の拠点づくり(高齡者見守り支援ネットワーク「ふれあい交流型」)及び「114 高齡者見守り支援ネットワークの充実」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
35	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	定期巡回随時訪問介護看護	68	医療と介護の一体化ということで、24時間体制の巡回型サービスと訪問型サービスが始まる。要介護度が上がる高齡者も多くなるので、要介護度3、4を対象とした訪問看護を充実させることが必要である。	医療と介護の連携についてはますます重要となっており、訪問看護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護の必要性も認識しています。実施を予定しているところもあるとのことですので、その効果、問題点等、情報を収集し、検討を進めていきます。	事業「13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
36	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	定期巡回随時訪問介護看護	68	24時間の定期巡回訪問介護看護を行ってほしい。診療報酬や人件費の問題により、手を挙げる事業所が少ないと聞く。医療・介護を安心して受けられる事業所をつくる必要があるのではないかと。	医療と介護の連携についてはますます重要となっており、訪問看護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護の必要性も認識しています。実施を予定しているところもあるとのことですので、その効果、問題点等、情報を収集し、検討を進めていきます。	事業「13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
37	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	特養整備	64	特養には500人の待機者がいて、そのうち優先度の高い方が240人とのことだが、計画上では3か年で100床規模を一つしか増やさない。現実的な問題として、このギャップをどうしていくつもりなのか。在宅医療を口実とし、特養の建設そのものを抑えるのではないかと。	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。また優先度の高い方の現在の状況は、老健入所者で3割、入院中の方で3割、在宅の方が3割、その他が1割です。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
38	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	特養整備	64	特養で、492人の待機者がいるが、100人の整備で間に合うのか。	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。 また優先度の高い方の状況は、老健入所者で3割、入院中の方で3割、在宅の方が3割、その他が1割です。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
39	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	特養整備	64	特別養護老人ホームの新規整備に関して。『約500人の入所希望者の中で、優先的に入所が必要とされる方が約240人を数える』とあるのに対し、『100床規模の新規整備』としたのでは対応できないが、展望をどのように考えているのか？	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。 また優先度の高い方の状況は、老健入所者で3割、入院中の方で3割、在宅の方が3割、その他が1割です。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	Eメール	1月18日	R
40	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	特養整備	64	特養老人ホームはさらに充実させてください。日野市の高齢者が増え続けているなかで、高齢者施設はまだ不足していると思う。是非、高齢者とその家族が安心して住める環境整備として特養を充実させてほしい。	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。 また優先度の高い方の状況は、老健入所者で3割、入院中の方で3割、在宅の方が3割、その他が1割です。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	Eメール	1月20日	T
41	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	特養整備	64	特別養護老人ホームを確保してほしい。1日も早く建設をしてほしい。多くの高齢者が独居の状態に置かれている。また、家族の介護にも限界があり共倒れや介護者が先に亡くなる場合もある。今年度も建設されたそうだが、まだまだ需要に追い付かないのが現状ではないでしょうか？	特養整備による介護給付費の上昇は、介護保険料の大幅な上昇につながります。そういったことも考えて計画的に整備を進めていきます。 また優先度の高い方の状況は、老健入所者で3割、入院中の方で3割、在宅の方が3割、その他が1割です。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	郵送	1月20日	α
42	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	認知症	80	家族会とは何か。	認知症の介護をしている方等の家族の集まりです。悩み事を話し合ったりする場です。本計画では認知症のご本人はもとより介護する家族への支援も重点的に取り組むものとして位置づけています。	リーディングプラン「④ 認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
43	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	認知症	-	老々介護で心配なのは、認知症は病気だが、病気は特養に入れないのではないか。	認知症だからといって入れないわけではないが、医療ニーズが高い、人工呼吸器を使っているような方は対応できません。特養は治療する場ではありません。酸素が必要というような常時医療が必要な方に24時間医師を配置できるという場ではなく、あくまでも居住の場です。	記載なし	説明会	1月14日	説明会出席者
44	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	認知症	57	認知症により徘徊をする方がいらして、団地の集合ポストからみんな自分のものだと勘違いして郵便物を取ってきてしまう。お互い様だからという対応と、どうか団地から出て行って市施設の施設に入ってもらいたいというように2つの意見がある。自治会でも対応に苦慮している。	地域の皆さんのご理解に感謝します。地域住民の理解を進めることで、認知症のご本人、介護する家族への支援を図ること、介護基盤の整備、介護・医療の連携など、本計画では認知症支援を重点的に取り組むべき分野として位置づけています。	リーディングプラン「④ 認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
45	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	認知症	57	認知症への対応をみると、住民、自治会に協力してもらうことになっているが、住民だけでは限界がある。住民まかせではなく、行政もサポートしてほしい。	在宅生活の継続にあたっては、地域包括支援センターを中心に支援していきます。家族や地域の理解があっても、在宅での生活が難しい方については、特養への入所等、重点的な支援を視野に入れて対応したいと考えています。	リーディングプラン「④ 認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
46	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	負担軽減策	80	介護保険料を支払っているが、介護にかかる経済的負担への援助は無く、恩恵を受けていない人が多いように思える。介護をする人の中には、仕事を辞めざるを得ない人もいるので、そういったことも反映してほしい。	介護に係る経済的負担や、介護のために仕事を辞めざるを得ない方がいることは把握しています。生計困難者に対する負担軽減策を実施しています。介護家族の支援については、リーディングプランに位置付け、重点的に取り組んでいきます。	リーディングプラン「④ 認知症高齢者と家族を支える仕組みをつくります」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
47	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	目標値設定	77,80,87	生活支援事業、家族への支援、人材確保が重要とあるが、これらにどのくらい取り組むのかが見えてこない。	生活支援、家族への支援はリーディングプランとして、重点的に取り組みを行っていきます。第4章に個々の事業の目標を設定しています。	第4章「高齢者福祉施策の展開」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
48	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	家賃助成	81~83	高齢者住宅について、賃貸料の援助を充実してほしい。	民間住宅家賃助成という制度のなかで検討します。	事業「60 高齢者民間住宅家賃助成」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
49	第4章 1. 介護・生活支援施策の充実	家賃助成	81～83	国の政策である高齢者住宅について、家賃が14～15万円の場合、入居できないので、家賃補助を検討してほしい。	民間住宅家賃助成という制度のなかで検討します。	事業「60 高齢者民間住宅家賃助成」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
50	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	ヘルパー2級資格取得制度は、3年ほどやってきた。新たな制度で医療行為ができるが、そのための講習が必要ではないか。	介護職員の医療行為について法整備がされ、都道府県による研修・登録制度が開始されます。研修や登録の実施状況を踏まえ、制度の問題点を把握し、医療行為の研修に対する支援策を検討していきます。	事業「69 医療行為研修の環境整備支援」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
51	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	介護要員をもっと増やすことを考えてほしい。	平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	郵送	1月17日	G
52	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	84	人材育成への助成をお願いしたい。	平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	郵送	1月17日	L

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
53	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	介護の人材育成と介護の仕事で生活できる環境整備に取り組んでほしい。 ヘルパーの介護報酬だけで生活できる給与は支給されていないのが現状である。新たに医業務もやらなければならないヘルパーの待遇改善と人材育成は急務である。ヘルパーのなり手が少ないのは生活給が得られないからだと思われる。主婦のアルバイトではこれからは成り立たない仕事になる。誇りの持てる仕事として働ける職種にしてほしい。	平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	Eメール	1月20日	T
54	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	介護職員の人材不足解消をはかるために、現行のホームヘルパー2級資格取得のための助成制度を継続してほしい。 理由：市のアンケート調査でも、赤字経営に苦しむ介護事業所や介護職員の賃金・労働条件の劣悪な実態が明らかになっている。解決は待ったなしである。ホームヘルパーの2級資格取得希望者がいる限り、資格取得の支援制度は廃止ではなく、存続すべきである。	平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	Eメール	1月20日	U
55	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	介護職員基礎研修事業は、継続してほしい。	平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	窓口	1月5日	X

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
56	第4章 2. サービス提供体制の整備	介護人材確保	87	介護人材の確保・介護現場で働く人々を増やすための施策の強化が必要。 介護の現場で働く人々が減っていくようでは、制度そのものが崩壊してしまう。 国に対して介護報酬の引き上げを積極的に求めることが当面重要。	介護人材の確保、定着への市の支援施策として、介護職員基礎研修・訪問介護員養成研修2級課程の受講料助成、介護従事者への研修を実施しています。今後も工夫して支援していきたいと考えています。 東京都市長会として「介護報酬の改定にあたっては、事業所の健全な運営、介護従事者の処遇改善を踏まえた適正な報酬改定を行うこと」を国へ要望しています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	郵送	1月20日	Z
57	第4章 2. サービス提供体制の整備	相談窓口	84	介護の相談があっても、市には相談していない。相談にきちんと対応してくれるのが不安である。	気軽に相談できるように仕組みを整えるように努めます。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
58	第4章 2. サービス提供体制の整備	その他	-	老健施設では、薬を出してもいいことになっているが、経営的にはできない。	介護保険制度上の課題であると認識しています。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
59	第4章 2. サービス提供体制の整備	その他	86	医療と介護の両方が実施されている受け入れ先を探しているが見当たらない。施設では、経営上、介護報酬額を超えてしまうので、高価なりウマチの薬を出せないで断られた。そういう人のための施策はどこにあるのか。	介護保険制度上の課題であると認識しています。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
60	第4章 2. サービス提供体制の整備	家賃助成	83,84	市の民間住宅家賃補助制度について、制度の周知徹底をはかるとともに多くの市民・高齢者が利用しやすいよう改善をはかってほしい。	情報提供の方法については、今後、改善に向けて見直す方向です。家賃助成制度だけでなく、高齢者の方が必要とする幅広いサービスの情報を提供できる仕組みづくりを検討します。	事業「62 情報提供体制及び相談体制の推進」を参照してください。	Eメール	1月20日	U
61	第4章 3. 介護予防・健康保持の推進	介護予防	92,93	いきいき体操、健やか体操は非常に良い。誰だって人の世話になりたくないし、介護保険も受けたとは思っていないので、ぜひ無料にしたい。	介護予防・健康維持の推進に取り組みます。サービスを受けるに当たり、受益者負担の原則から一定の費用の負担については、ご理解をお願いいたします。	事業「84 さわやか健康体操(日野人運動事業・一次予防事業)」及び「85 悠々元気体操(日野人運動事業・一次予防事業)」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
62	第4章 3. 介護予防・健康保持の推進	健康診断	94	60歳以上の健康診断の受診率の現状値はどのくらいか。例えば5割あるのか。また、受診率向上に向けた推進策はどうしているのか。	特定健診(40～74歳)の受診率は47.2%、うち65～74歳は、59%でした。いきいき健診(75歳以上)の受診率は55.5%(H22年度)でした。市広報、WEBページ等への掲載により周知を図っています。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
63	第4章 3. 介護予防・健康保持の推進	施設利用	91	91ページに介護予防、健康保持の推進について色々と企画されているが、私達もサークル活動として利用させて頂いているが現在、平均年齢75歳以上で行っている、施設の管理部署が地域協働課と高齢福祉課、スポーツ課等色々あり、複雑で、とても高齢者の尊厳の保持と自立の支援を受けているとは思えないが、介護保険料を減少させる方策の一つが健康保持の推進と思うが如何なものか。窓口を一本化して、高齢者の要望を受け入れてほしい。特に現状の施設利用の有効活用をするための改善を積極的に取り上げてほしい。また要望する仕組みとして日野市のホームページの活用があると思う。現在、日野市のホームページの利用率が非常に低く昨年、ホームページの利用率向上のプロジェクトが企画されている。	施設利用申請手続きの利便性向上については全庁的な課題として検討中です。	記載なし	Eメール	1月19日	√
64	第4章 5. 地域における支援協力体制の確立	バリアフリー	104	高齢者が快適に居住できるよう住まい等のバリアフリー化を推進するとある。南平駅はバリアフリー化されたといわれるが、実質バリアフリーとはなっていない。まちぐるみ、という観点での高齢者対策や子どもの対策を行ってほしい。	バリアフリー化は、家の中だけでなく、まちぐるみ・まちづくりの視点が必要との認識を持っています。関連部署と連携し、まちづくりの観点から、バリアフリー化を進めていきます。	事業「122 鉄道駅舎のバリアフリー化の促進」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
65	第5章 2. 介護保険サービスの見込み量	給付費推計	109～	消費税が増税された場合、給付費用が新たにプラスになってしまうのではないかと判断しています。	介護サービスは原則消費税非課税扱いとなります。従って、給付費に直接の影響はないものと判断しています。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
66	第5章 2. 介護保険サービスの見込み量	給付費推計	111	標準給付費見込み額の317億円に基盤整備計画(用地取得費、建設費)は含まれているのか。	サービス費用のみで入っていません。	「(3)平成24年度～平成26年度の標準給付費見込み額」を参照してください。(修正後の計画では、328億円となっています。)	説明会	1月13日	説明会出席者
67	第5章 2. 介護保険サービスの見込み量	給付費推計	111	112ページの「標準給付費見込み額」317億円とは何か。	毎年度の給付見込額の3年間(平成24年度～平成26年度)の合計です。	「(3)平成24年度～平成26年度の標準給付費見込み額」を参照してください。(修正後の計画では、328億円となっています。)	説明会	1月13日	説明会出席者
68	第5章 2. 介護保険サービスの見込み量	地域支援事業	111	地域支援事業費とは何か。	地域支援事業とは介護保険法に位置付けられた事業で3つの類型に分類されます。要介護認定を受ける前の介護予防事業経費、地域包括支援センターの運営経費、家族介護慰労金などの任意事業経費となります。	「(4)地域支援事業費の見込み」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
69	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険財政	112～115	日野市における介護保険財政の収支は赤字なのか。	今期は黒字となる予想のため、黒字分(=介護給付費準備基金)を活用して5期の保険料の上昇を抑制したいと考えています。	「3. 介護保険料の算出」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
70	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	市の介護保険財政における支出については詳細に記載されているが、収入については触れられていない。介護給付費準備基金が6億8千万円も余っているが、それはどうなるのか。なぜこれだけの値上げをしないといけないのか。	介護保険料は、65歳以上、40歳～64歳までの方の保険料、残りを公費で負担する仕組みであり、これ以外の財源はありません。支出が決まればそれを公費および保険料で1/2ずつ負担します。保険料のうち、65歳以上の方は21%を負担していただきます。それにより必要となる保険料が算出されます。また、6億8千万円の介護給付費準備基金は介護保険料を下げる要素となります。	「1. 総論」の「(2)財源構成」及び「2. 介護保険サービスの見込み量」の「(1)介護保険料収納必要額の算定」を参照してください。「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
71	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	市の介護保険財政における収入についてなぜ明らかにならないのか。財源不足を示していないのに、なぜ値上げするかわからない。介護保険制度外の市の予算でも、企業からの税込、国からの補助金、都からの補助金を合算させ、それぞれの施策を調整していると思うが、なぜそれをやらないのか。介護保険料の値上げをする根拠がない。なぜ補助金を使わないのか。	介護保険料を決めるまでの過程として、まず3年間の給付額を推計します。その額はいくらになっても税金などで79%は充当されることが決まっており、残り21%を65歳以上の高齢者の方から保険料として徴収し充当します。よって、3年間の高齢者人口見込み数から一人あたりの保険料額が自動的に計算されます。従って、施設整備や職員の処遇改善を図る報酬改定など制度の充実を図ると保険料も増額せざるを得ない制度のつくりとなっています。	「1. 総論」の「(2)財源構成」及び「2. 介護保険サービスの見込み量」の「(1)介護保険料収納必要額の算定」を参照してください。 「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
72	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	日野市における介護保険財政の収支が黒字になるのなら、その分を市民に還元するということは考えないのか。	黒字になった分を使って、5期の保険料の上昇を抑制したいと考えています。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
73	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	日野市における介護保険財政の収支が黒字であれば、還元してもらいたい。介護給付費準備基金が6億8千万円とあるが、これを使ってもらいたい。金額が上がっていくことはあっても、下がっていくことは経験していない。	保険料を下げるために活用します。3月の市議会において決定する。第4期は第3期と比較して80円(基準月額)値下げしています。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
74	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の12%の値上げにより、お年玉が5千円になるか1万円になるか大きく変わる。ぜひとも抑えてもらいたい。	介護給付費準備基金を活用して保険料の上昇を抑制します。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
75	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備基金の取り崩しと東京都の財政調整基金も含めて、保険料減額の工夫をしてほしい。	事業期間内に赤字になった場合、財政安定化基金を利用していましたが、今回の法改正により介護保険料減額のために取り崩すことが可能となりました。日野市には7,100万円程戻ってくる予定であり、全て保険料減額のため利用します。また、介護給付費準備基金も活用して保険料の上昇を抑制します。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
76	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	基金を活用して、保険料の支払額を少なくしてもらいたい。70歳になると医療費が1割負担となるため、それまで手術を待っている。それが2割負担となると、金銭的に非常に苦しい。年金支給額も下がっている。	介護給付費準備基金を活用して保険料の上昇を抑制します。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
77	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備基金を取り崩さないのか。取り崩した場合、値上げが大幅に抑えられる。高齢者の生活は厳しく、年金支給金額も減らされそうである。医療負担も大きくなる上、介護保険の値上げは厳しいので、できるだけ値上げは抑えて頂きたい。	介護給付費準備基金を活用して保険料の上昇を抑制します。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月12日	説明会出席者
78	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	6億8千万円の介護給付費準備基金交付金は使うべきだと思う。年度ごとの剰余金額を教えてください。	介護給付費準備基金を活用して保険料の上昇を抑制する。介護給付費準備基金は前期からの繰越金が5億5千万円ありました。平成21年度が約1億円、平成22年度は約3千万円、平成23年度は0円と見込んでいます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月12日	説明会出席者
79	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の区分、基準額に対する割合は国で決めているのか。	区分について、第1段階から第6段階を標準的設定として国が決めています。日野市においては、第6段階以上は一律で同じ金額で負担してもらおうところを、高所得者の負担額を増やすよう設定しています。基準額に対する割合も、標準的なものについては国が決めています。	「(4)介護保険料基準額の算定」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
80	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	月額年金が生活保護者と大差ない。保険料や他の税金も含めると、生活はかなり厳しく負担となってくる。第1、2段階の介護保険料は、納得できない。介護保険ですべて済むなら納得もできるが、1割負担もある。どうやってこの人たちは生活しているのか不思議である。基準額を下げる等お願いしたい。	介護給付費準備基金を活用して、第1、第2段階の保険料も含めて、上昇を抑制します。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。各段階の保険料については、「(4)介護保険料基準額の算定」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
81	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115, 91~96	介護保険料について、少しでも安くしてもらいたい。昨年の健康保険料の値上げが生活に影響している状況の中、年金が減額され、さらに介護保険料の値上げということになると、どうして良いのか判らない。	介護保険料の設定に当たっては、介護給付費準備基金を充てて急激な上昇を抑えます。保険料の増加を抑える方法として、介護予防や健康維持に取り組み、介護サービスを必要とする高齢者の増加を抑えるという考え方もあります。本計画では、すべての高齢者が介護予防・健康維持に取り組めるよう23の事業を設けています(P91-96)。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月12日	説明会出席者
82	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	保険料の段階で、5以上と4以下で金額の考え方が違う。5以上は課税金額で、4以下は収入を指しているのではないか。書き方は正確にすべきである。	記載の通りで誤りはありません。	「(4)介護保険料基準額の算定」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
83	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備基金取崩額は、0円となっているのは、決めていないのか。	素案の段階では、取崩額をいくらにするのか決まっていません。今後検討し確定していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月13日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
84	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	65歳以上の方の様々な負担が増える中、介護保険料の上限はいくらが妥当と考えているのか。市の基本的な考え方を聞きたい。	市では、基本方針である「持続可能な支え合いの仕組みづくり」を目指して取り組んでいきます。介護保険料の上限について、供給量の総額が上がれば負担も増えます。国でも制度そのものについて議論されています。負担できる範囲というのはそういう議論の中で決められていくものと思います。	「3. 介護保険料の算出」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
85	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費基金準備金取崩額を全部取り崩したら第1・第2段階の値上げはしなくても済むのか。取崩を入れて保険料を下げるということは国も認めているので、シミュレーションして、検討して欲しい。	基準月額が上昇する限り、介護給付費準備基金の取崩だけでは、第1第2段階の負担上昇は避けられません。	「3. 介護保険料の算出」を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者
86	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料について、医療負担が1割上がり、年金が25%減の中で、できるだけ介護給付費準備基金を使って変動を抑えて欲しい。また、介護保険料が上がる理由の1つとして、介護職員の給与を国が別枠で出していたが、その分を保険料から出すようになった。そうではなく、国が面倒を見るように国に要望を出して欲しい。	介護給付費準備基金を活用して保険料上昇を抑制します。国への要望については、高齢福祉・介護保険課長会を通じて要望を国に上げています。	「(1) 介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月14日	説明会出席者
87	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	保険料の負担は所得に対する割合でもみる必要がある。例えば、6段階では所得の5.7%ぐらいに相当するが、10段階では1.3%ぐらいになり、所得が高い人の負担が少ない。	日野市では所得の高い人には全国よりも多くの負担をしてもらっています。ただ、負担率という考え方による制度設計とはなっていません。	「(4) 介護保険料基準額の算定」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
88	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の値上げのないように最終案をまとめてほしい。 私は80歳の年金暮らし。月額介護保険料は現在5350円である。医療費負担は3割で、月1回の診察と薬代で8,000円になる。年金額も引き下げられるという話もある。生活不安が増すばかりである。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1) 介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	FAX	1月11日	A

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
89	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の値上げを計画されているのは、とても痛い。介護保険料の残金(介護給付費準備基金)をぜひ使うようにして下さい。 国は、税と社会保障の一体化をこり押し使用としている。日野市では昨年国保税が18%も引き上げられたばかりである。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	FAX	1月14日	B
90	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の据え置きのため、介護保険料の残金(介護給付費準備基金)をぜひ使うようにして下さい。 保険料はもともと私たち市民が介護のために支払ったものですから、私たちに返すのが筋である。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	FAX	1月14日	B
91	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付準備金を取り崩し、市民の負担(介護保険料)を抑えてほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	FAX	1月20日	C
92	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の引き上げは抑えてほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月16日	E
93	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の引き上げはしないしてほしい。介護給付準備基金を活用してほしい。 ふれあいセンターなどの建設には多額をつぎ込んだのではないかな。もっと市民のことを考えた行政をしてほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月16日	F

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
94	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	介護保険料の値上げは止めてください。介護給付費準備基金の残高は7億円余りあるので、これを活用してください。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月14日	H
95	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	介護保険料の12%増は撤回又は抑制してほしい。昨年の国保税の値上げに続き、介護保険料が値上げされれば、生活に大きな打撃になる。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月14日	I
96	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	介護保険料の値上げはしないでください。介護保険料の12%増を予定していると聞きました。昨年4月に国保税が平均18%値上げされたばかりです。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	J
97	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	介護給付費準備基金を取り崩して介護保険料の増を抑制してほしい。昨年4月に国保税が平均18%値上げされたばかりです。年金は減らされ、その年金から本人の承諾なしに差し引かれる税金に憤りを感じている。これから先の生活が不安になる。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	K
98	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	介護保険料の値上げをしないでほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	L

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
99	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備金を活用し、値上げをしないでほしい。 素案を見てびっくりした。昨年4月に国保税が値上げされたばかりなのに介護保険料の値上げが打ち出されている。年金が切り下げられている中、どうやって生活できるというのだろうか。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	M
100	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の値上げは中止してほしい。 特養不足の対策が不十分のままの今回の値上げ案に疑問を感じる。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	N
101	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備基金を取り崩して介護保険料の引き上げを抑制してほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	O
102	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の値上げに反対する。 昨年国保税が18%も引き上げられ、生活が本当に大変である。国では、消費税の引き上げ、年金の引き下げも計画されている。これ以上、私たちを苦しめないでほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月17日	Q
103	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の設定については、介護給付基金準備金を取り崩し、増額幅を最小に抑えるべきである。 (母親が介護サービスを受けている島根県でも取り崩して対処するようだ)	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられません。その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	Eメール	1月18日	R

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
104	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	第1号被保険者の介護保険料について、引き上げないように極力努力してほしい。 そのためには、給付費を抑制するのではなく、介護給付費準備基金を取り崩すべきである。 理由は、高齢者の収入は年金が主だと思われるが、引き下げが予定されているほか、医療保険などの負担増が見込まれるので、特に低所得者の生活は大変厳しいと思うからである。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられませんが、その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	Eメール	1月20日	S
105	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料に全てを連動させないで、保険料の上昇を抑えてほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられませんが、その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	Eメール	1月20日	T
106	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料は、高齢者の生活実態を考慮して値上げを抑制してほしい。 理由:介護保険料の基準月額を4340円から4886円へと12%も値上げする案は、高齢者の厳しい生活をますます圧迫するものである。すでに昨年4月、国保税が平均18%も値上げされている。また今年4月から後期高齢者医療保険料が10%も値上げされることが検討されている。 日野市は第4期介護保険事業計画策定にあたって、介護給付費準備積立基金を95%取り崩して介護保険料の抑制に努力して頂いたという実績がある。現在、6億8000万円あるという同基金を全面的に活用して、値上げを抑制するよう要望する。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられませんが、その中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	Eメール	1月20日	U

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
107	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	第1号被保険者の介護保険料について、必要な費用は払えと言う様な感じを受けたが、介護保険料を少なくする方が今回の説明では、理解出来なかったが、保険料の支払いの内訳(収支決算)は分かるか。この内容の現状把握と分析も必要と思うが、どうなっているのか。教えてほしい。データがあれば幸いだ。	介護保険料を決めるまでの過程として、まず3年間の給付額を推計します。その額はいくらになっても税金などで79%は充当されることが決まっており、残り21%を65歳以上の高齢者の方から保険料として徴収し充当します。よって、3年間の高齢者人口見込み数から一人あたりの保険料額が自動的に計算されます。従って、施設整備や職員の処遇改善を図る報酬改定など制度の充実を図ると保険料も増額せざるを得ない制度のつくりとなっています。	「1. 総論」、「2. 介護保険サービスの見込み量」及び「3. 介護保険料の算出」を参照してください。	Eメール	1月19日	V
108	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112～115	公平な負担について 総合計画冊子の114頁及び115頁の表をもとに、次のように、年間所得に対する年間保険料の割合(以下では負担率と表します)を作成したところ、計画素案では、高額所得者ほど負担が軽くなるという不公平を生みだしている。試算のように負担を公平にすることにより、第6段階まで(全人数の76%)が、第4期に比べて保険料を下げる事が可能になる。 社会保障の費用を、だれがどのように負担するかということは、国、地方自治体、国民、住民の一貫した課題であり、社会全体で無理なく負担するという点では、「応能負担」が適切と個人的には考えるが、今回の計画素案のような「低所得者ほど負担が重くなる」というあり方は、社会保障の趣旨から逆行していると考えざるを得ない。せめて、さしあたりは、負担が公平となるように、計画を見直されることを切に要望する。	介護保険制度は税負担と違い、広く浅く負担をして制度を支えていくのが制度創設からの理念です。基準月額を全員が負担するのが出発点とすれば、低所得者層は1/2に軽減されています。	「(4)介護保険料基準額の算定」を参照してください。	Eメール	1月20日	W

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
109	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護給付費準備基金の活用について 112頁であらわされている当該基金については、取り崩して保険料の算定に組み入れ、保険料を下げる方向で活用してほしい。 なお、前出の「公平負担保険料」の算定の際に、第4期に比べて保険料が上がる第7段階以降の保険料に基金を全額(6億円)組み入れると、一人あたり年額で約20,000円、保険料を下げる事ができるので、参考にしてほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は必然である。中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	Eメール	1月20日	W
110	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	介護保険料の引き上げを抑制するための措置をとることが必要 介護給付費準備基金6億8千万円を取り崩して給付費に回すことを求める。 予防給付費等で一般会計福祉費で賄える条件のある施策の有無を検討し、給付費の削減に努め、保険料を抑制してほしい。	介護給付費準備基金は、介護保険料に充てるものです。取崩し額は、今後の介護保険財政を十分検討したうえで、決めていきます。 一般会計については大変厳しい状況があるため、施策の振替は難しいと考えています。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月20日	Z
111	第5章 3. 介護保険料の算出	介護保険料の改定	112~115	保険料の大幅値上げをしないでほしい。 約6億8千万円ある介護給付費準備基金交付金を活用し、ぜひ保険料値上げを抑制してほしい。	今後高齢者人口が増え、施設整備なども計画に位置付けると保険料の上昇は避けられませんが、中でも、介護給付費準備基金を活用して上昇を抑制していきます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	郵送	1月20日	α
112	第5章 3. 介護保険料の算出	準備基金の取崩	112~115	介護給付費準備基金を取り崩して、負担増の抑制を図るという説明を受けた人がいる。詳細説明をお願いしたい。	サービス量は利用者増加に伴い増加します。保険料を算定する際、3年間の平均で算定しています。しかし、実際にはサービス量が算定額以下になることがあるため、そうした場合は黒字化した部分を積み立てておきます。これが介護給付費準備基金で、次期事業計画策定時に積立額があれば、保険料の上昇を抑えるために活用できます。	「1. 総論」、「2. 介護保険サービスの見込み量」及び「3. 介護保険料の算出」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
113	第5章 3. 介護保険料の算出	準備基金の取崩	112~115	市は営利を目的とした企業ではないので、市民を大切にすることが大事ではないのか。(介護保険料の上昇の抑制について)	介護保険財政の収支は、赤字か黒字かどちらかだが、赤字の場合は都から借金をして穴埋めすることになります。黒字の場合は、基金に積み立て、次期事業計画時に保険料上昇を抑える資金としてのみ活用できます。	「(1)介護保険料収納必要額の算定」の中で、「介護給付費準備基金取崩額」として、基金の取崩しを計画に反映します。	説明会	1月11日	説明会出席者
114	第5章 3. 介護保険料の算出	保険料段階の人数	112~115	介護保険料所得段階区分が第1段階の人達がどれだけの割合を占めているのか教えてほしい。	平成24年度は、874人と見込んでいます。第1号被保険者数が40,532人ですので、約2.2%を占めています。	「② 第5期事業計画の所得段階設定と推計人口」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
115	第5章 4. 介護保険事業の円滑な運営	介護人材確保	118	介護職を10年間続け、鬱病になり仕事を続けられなくなった。現在、もっと大変な状況の中、仕事をしていると思われる。給与が安く大変だと思うが、介護に従事する人をどのように支えていくのか。	市としては、研修等の支援を中心に考えています。平成21年4月介護保険法改正により、平成22年4月1日以降、訪問介護員養成研修3級課程受講修了者による介護サービスの提供については、介護報酬の算定対象外となりました。これを受け、2級課程等資格取得のための支援策として受講費用の助成を実施し、一定の成果を上げてきました。今後は、介護職員の不足について、量的拡大から、職場環境の改善や職場への定着を図るための現任者向け支援策に転換していく必要があると考えています。	事業「67 介護人材育成研修事業」「68 介護職員基礎研修等受講支援事業」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者
116	第5章 4. 介護保険事業の円滑な運営	負担軽減策	89,117	低所得者にたいする利用料の負担軽減制度を抜本的に拡充してほしい。 理由:日野市のアンケート調査でも、所得の低い方では、利用料負担が重いためにサービスの利用を抑制せざるを得ないと回答した人が多くにのぼっている(年収200万円未満で36・8%)。現行の市の負担軽減制度を市民が利用しやすいように拡充するとともに、認知症グループホームの利用者に対する負担軽減制度を新たに創設してほしい。	現行の低所得者負担軽減策を推進する。認知症グループホームの負担軽減策創設は考えていません。	記載なし	Eメール	1月20日	U

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
117	第6章 2. 高齢者の住まいをめぐる現状と課題	居住安定確保計画	122~136	市による高齢者の住宅確保策の1つとして、空家を活用した高齢者の共同生活の場の提供を提案します。 あちこちの地域に有れば、と考えている。	住宅の提供については、シルバーピア等で実施しています。また、高齢者が民間の賃貸住宅に入居しやすくなるような施策を検討しています。	第6章に掲げる各事業のうち、「③ シルバーピアの供給」及び「④ 民間賃貸住宅への入居支援」を参照してください。	郵送	1月20日	α
118	第6章 2. 高齢者の住まいをめぐる現状と課題	特養整備	126	入所待機者の人数、他市からの入所者の人数を教えてもらいたい。	昨年末のデータでは、入所申込者は489名、そのうち優先度の高い方は247名です。市外からの入所者数は、1割にも満たないものと思われます。また、市外に特別養護老人ホームの枠を68床確保しています。	記載なし	説明会	1月11日	説明会出席者
119	第6章 2. 高齢者の住まいをめぐる現状と課題	有料老人ホーム	131	老人向け住宅はまだまだ少ないと思う。ケアホームも作ってほしい。	市内には、十分な戸数の民間賃貸住宅の空家があります(平成20年住宅・土地統計調査では、7,040戸)。こうした空家に円滑に入居していただけるよう、支援させていただく方向です。 調査の結果、有料老人ホーム等については、入居者のうち59.9%の方が市外からの転入者となっていることから、日野市内での需要は少なく、充足しているものと考えられます。現状の供給水準を維持する方向で考えています。	第6章に掲げる各事業のうち、「② 有料老人ホーム等の供給支援」を参照してください。	郵送	1月17日	L
120	第6章 3. 高齢者の居住の安定確保に関する新たな視点	居住安定確保計画	127	世代間のバランスの取れたまちづくりはとても良い。ただ日野市は子育てが一番しにくいと認識している。子育てをしやすい街にしていけないと、悪い市政のしわ寄せが高齢者に向かってくる。行政として世代間のバランスの取れたまちづくりを行う努力をしていけなさいといけない。	高齢化問題と少子化問題はセットで考えています。子育て施策についても日野市では力を入れています。限られた枠の中で、バランス良く行っていきたいと考えています。	施策展開の考え方 「③世代バランスの均衡のとれた住まい・まちの実現」を参照してください。	説明会	1月12日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
121	第6章 3. 高齢者の居住の安定確保に関する新たな視点	居住安定確保計画	127	賃貸住宅は充足しているのに公営住宅はあまりいらないというニュアンスだが、団地入居者の1割以上は家賃の安い公営住宅に移りたいと考えている。都営住宅の応募率も50から60倍となっているので、充足しているというのは実態をみていない。都も公営住宅は必要ないという認識だが、家賃補助なども欧米のようにやるようにして欲しい。	調査の結果、市内には、十分な戸数の民間賃貸住宅の空家があることが判明しています(平成20年住宅・土地統計調査では、7,040戸)。しかし、高齢者世帯への不動産の貸し渋りが存在することも、調査の中で把握できました。こうした課題を解決し、空家となっている民間賃貸住宅に高齢者の方が円滑に入居していただけるよう、既存の家賃助成制度も含め、支援することが重要であると考えています。公営住宅を積極的に建設していくという状況にはありません。	第6章「安心して暮らせる居住の確保(日野市高齢者居住安定確保計画)」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
122	第6章 3. 高齢者の居住の安定確保に関する新たな視点	居住安定確保計画	124	高齢者の居住の安定を確保するために、公共住宅の確保を重要課題として位置づけてほしい。当面の課題として、都営住宅の整備、UR賃貸住宅の維持・存続などを都やURなど関係機関に働きかけてほしい。理由:住まいは人権、住宅は福祉といわれている。市が「安心して暮らせる居住の確保」を重要課題として位置づけられたことは評価できるし、今後期待するものである。しかし、「市内の借家は十分な供給量が確保されている」と楽観的な現状認識にたち、「直接供給から間接支援への転換」などと強調していることは、高齢者の住宅をめぐる深刻な現実とあまりにもかけ離れていると言わざるをえない。都営住宅への入居応募倍率は平均30倍程度にもものぼるといわれている。UR賃貸住宅は、政府が「特殊会社化」=民営化を打ち出し、居住者は不安を募らせている。高齢者・市民の切実な住宅要求と住宅をめぐる深刻な現状を把握し、実態にあった計画してほしい。	現在、日野市では、UR賃貸住宅も含めた公的賃貸住宅は多摩地域の中でも充実している。東京都やURの動向については、今後も注視していきます。市内の借家数は十分な供給量が確保されているものの、一人暮らしの高齢者等の入居が敬遠されることがある、という実態が、調査の結果明らかとなっています。こうした状況を踏まえ、高齢者が民間の賃貸住宅を円滑に借りられるよう、支援していくことが重要と考えています。	第6章「安心して暮らせる居住の確保(日野市高齢者居住安定確保計画)」を参照してください。	Eメール	1月20日	U
123	第6章 3. 高齢者の居住の安定確保に関する新たな視点	見守り支援ネットワーク・親子リレー融資	126、83	百草団地はもうすぐ高齢化率が40%となる。40年・50年住んでいて絆がある。親子で一緒にいたいとか、建て替えをどうするかとかがあるが、そういう部分も視野に入れて欲しい。	住み慣れた地域でいつまでも暮らしたいとお考えの方は非常に多いものと思われます。市では、こうした方々を地域全体で支え合う「見守り支援ネットワーク事業」を展開しています。また、親子が同居できるような住宅の建築・住み替えについて、民間の融資制度の情報を提供できるような情報提供体制の整備を図ります。	事業「114 高齢者見守り支援ネットワークの充実」と、第6章に掲げる各事業のうち、「⑤ リバースモーゲージ等融資制度の情報提供」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
124	第6章 4. 推進施策	特養整備	128	特養の待機者は何人か。また、どのくらいの方が入居でき、待っている人はどこに入ったらいいいのか、どうバックアップするのか。	約500人の待機者のうち約240人が優先度が高い待機者です。4月に82人規模の特養が開設します。さらに、計画期間内に90人の特養の新設を計画化しています。とりあえず申し込みをしている人が多く、3割ぐらいが在宅で、入院中の人や、すでに入所している人もいます。医療ニーズが高いため、受け入れることができない人もいます。申込者の状況を詳細に把握し、居宅で生活をしてサービスを受けて過ごせればよいという人もいるので、そのような支援を優先します。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
125	第6章 4. 推進施策	特養整備	128	特養にあふれた方は在宅で面倒を見るのか。	待機者の解消に向け、新しい特別養護老人ホームが4月に開設し、本計画期間中に更に1施設開設することを計画しています。しかし、高齢者数の増加と並行し、待機者も増えることから、待機者の全面解消は非常に困難です。よって、入所できない方には在宅生活をお願いするしかない、というのが現状です。在宅生活の負担が少しでも軽減されるよう、在宅サービスの充実を図って行きます。	事業「1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
126	第6章 4. 推進施策	特養整備	128	特養にもれた方は在宅でというが、具体的にどのように在宅での介護を支援していくのか知りたい。	リーディングプランにあるように、医療と介護の連携ということで在宅で医療ニーズのある方に対して連携を進めていきます。 また、居宅サービスについては、小規模多機能型居宅介護の拡充等、様々な居宅サービスの展開に取り組んでいきます。	リーディングプラン「② 介護と医療の連携を進めます」と、居宅サービスの一連の事業「(2)居宅サービスの充実」を参照してください。	説明会	1月14日	説明会出席者
127	第6章 4. 推進施策	民間賃貸住宅への入居支援	135	民間住宅を高齢者の入居に活用したいとあるが、項目でみると内容が薄いのではないか。	現段階では、計画に先立って行った調査の結果、高齢者による民間住宅への入居の困難な実態が把握できたところです。 平成24年度以降、入居支援策の具体化に向け、検討を進めます。	第6章の「4.推進施策」中「(5)その他、市内の高齢者の居住の安定の確保に関し必要な事項」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
128	第6章 4. 推進施策	民間賃貸住宅への入居支援	82	低所得の高齢者民間住宅の家賃の一部補助は本当に切実である。しかし、知らないために利用者が少ないのが実情である。市民にもっと広く知らせ、利用しやすいものにすることが急務である。	情報提供の方法については、今後、改善に向けて見直す方向です。住宅に関する施策だけでなく高齢者の方が必要とする幅広いサービスの情報を提供できる仕組みづくりを検討します。	第6章の「4.推進施策」中「(5)その他、市内の高齢者の居住の安定の確保に関し必要な事項」を参照してください。	FAX	1月20日	D
129	第6章 4. 推進施策	民間賃貸住宅への入居支援	82	身元保証等の仕組みづくりは、「検討」ではなく、「実現」してほしい。	現段階では、計画に先立って行った調査の結果、高齢者による民間住宅への入居の困難な実態が把握できたところです。平成24年度以降、入居支援策の実現に向け、検討を進めます。	第6章の「4.推進施策」中の事業「④ 民間賃貸住宅への入居支援」を参照してください。	FAX	1月20日	D
130	第6章 4. 推進施策	民間賃貸住宅への入居支援	82	保証人制度など、低所得の高齢者が民間賃貸住宅に入居できるような支援が必要と思われる。行政が関与することで、空家を抱えて困っている不動産業者と、住まいが確保できない高齢者の両方が助かるのではないかと思う。安全で良質な住まいの確保に向けた対策に期待している。	計画に先立って行った調査の結果、高齢者による民間住宅への入居の困難な実態が把握できたところです。 高齢者、不動産業者、両者が感じている困難が解消できるよう、入居支援策の検討を進めます。	第6章の「4.推進施策」中「(5)その他、市内の高齢者の居住の安定の確保に関し必要な事項」を参照してください。	Eメール	1月20日	S
131	第6章 4. 推進施策	家賃助成	83	高齢者民間住宅家賃助成の対象として、UR等の公的な住宅についても認めてほしい。 家賃の支払いが負担であるため、公営住宅に申し込んでも当たらない。とはいえ、生活保護を受けたくない、という方は何人もいます。	URIにより供給される住宅の家賃については、通常の民間賃貸住宅の価格設定より安価に設定されていると認識しています。今後のURの価格設定については、高齢者民間住宅家賃助成の対象とすべきかどうか、注視していきます。	第6章の「4.推進施策」中の事業「⑥ 高齢者民間住宅家賃助成」を参照してください。	FAX	1月20日	D
132	第6章 4. 推進施策	有料老人ホーム	131	「高齢者向け住宅が必要で、オーナーが転換(バリアフリー化)を図るために支援をする」という情報発信が必要。 不動産事業者調査によると、高齢者世帯の入居を敬遠する理由として、「住宅のバリアフリー化状況の不安」という回答は多くなかったようだが、バリアフリー化が進んでいるかという、そうではないのでは。高齢者を入れるつもりがないので、バリアフリー化まで視野にないのが実情と思われる。	市内では、高齢者向け住宅(有料老人ホームを含む)は、充足していると考えています。 また、住宅のバリアフリー化については、入居後、オーナーの同意の下、入居者が既存制度を活用していただくことが可能です。これを踏まえ、調査では「住宅のバリアフリー化状況等の不安」という回答が5.3%にとどまっているものと思われる。	第6章「安心して暮らせる居住の確保」を参照してください。	Eメール	1月20日	S

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
133	第6章 4. 推進施策	有料老人ホーム	131	低所得者向けケアハウスの充実をお願いする。	日野市では、低所得の方も利用しやすい公的賃貸住宅が充実しています。 在宅生活の支援については、地域包括ケアを推進し、各種サービスを適切に組み合わせたサービスを提供できるよう、充実を図っていきます。	第6章の「4.推進施策」中の事業「② 有料老人ホーム等の供給支援」を参照してください。	Eメール	1月20日	T
134	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	市報を見て今回の説明会に参加した。20日までに返答するよう記載されているが、日程が短すぎて非常に厳しい。もっと時間がほしい。	内容もかなり充実したものとなった半面、計画書の分量も嵩み、ご負担をおかけしております。次回の計画策定時には、パブリックコメントに十分な期間を確保するよう努めます。	記載なし	説明会	1月11日	説明会出席者
135	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	市のWEBページ上で素案を見たが、膨大なページ数でよくわからなかった。説明会に参加し理解できたが、1月に素案ができ、締め切りが1/20で、本当に情報が必要な人に届いていないように思える。アンケート調査は行っているが、住民の生の声を聞いてもらう機会をもっとつってほしい。1/20の期限もぎりぎりなのか。	内容もかなり充実したものとなった半面、計画書の分量も嵩み、ご負担をおかけしております。次回の計画策定時には、パブリックコメントに十分な期間を確保するよう努めます。	記載なし	説明会	1月12日	説明会出席者
136	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	2月に説明会を行うことはできないのか。今日の参加者も少ない。	計画策定は、限られた期間内で行わざるを得ません。当初設定した工程に従って意見募集を行いました。ご了承ください。 計画に規定する4つの生活圏域で各1回の説明会を実施しました。ご了承ください。	パブリックコメントについての記載箇所に説明会の開催等についての説明を追記します。	説明会	1月12日	説明会出席者
137	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	パブコメも行われているが、出てきた意見は公表するのか。	公表します。20日までにいただいた意見を月末の介護保険運営協議会に諮る予定です。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
138	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	膨大な計画を作っていたり、アンケートをしていたことを知らなかったが、市報には載っていたのか。説明会は何回行っているのか。	アンケートの実施については、平成23年2月1日号の広報ひのに掲載しました。	アンケート調査についての記載箇所を参照してください。	説明会	1月13日	説明会出席者

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
139	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	今日の説明会には10人しかいない。4回の説明会をあわせても60人ぐらいしか説明会に来ることができない。市民と一緒に作っていくことを思っているとは思えない。近くで開催するなどもっと出てきてもらえるような工夫が必要である。また、70歳を過ぎるとだんだん理解ができなくなっている。ますます丁寧な説明が行われるべきである。	計画に規定する4つの生活圏域で各1回の説明会を実施しました。ご了承ください。	パブリックコメントについての記載箇所に説明会の開催等についての説明を追記します。	説明会	1月13日	説明会出席者
140	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	新聞記事を見て、市に行ったら、計画書が2部しかないのだから渡せないからここで見てくださいと言われた。2日かかって半分くらいしか読んでいない。	部数も限られているため、ご負担をおかけしております。市民説明会に出席された方には、お渡しさせていただきました。	記載なし	説明会	1月13日	説明会出席者
141	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	このような重大なこと(介護保険料の引上げ)を市民に周知しないまま決定しないでほしい。	皆様のご意見を計画に反映するため、計画の決定前にパブリックコメントを実施させていただきました。	パブリックコメントについての記載箇所に説明会の開催等についての説明を追記します。	FAX	1月14日	B
142	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	日野市における介護の実態、特に保険料の値上げの必要性について、若い世代に解り易く知らせてほしい。 今後、自分たちが介護される側になるとき、はたして十分な介護サービスが受けられるのか不安になる。	高齢者と現役世代の負担のバランスは介護保険制度を巡る議論の大きな論点であると考えます。法改正の動向を把握し、高齢者にも現役世代にも、広報やWEBページを通じ、わかりやすく伝えるようにします。	パブリックコメントについての記載箇所に説明会の開催等についての説明を追記します。	郵送	1月17日	G
143	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	計画を策定されたメンバーの氏名を公表してほしい。他のプロジェクトでは公表されている。	計画に記載します。	資料編の「(2)日野市介護保険運営協議会委員名簿」を追記します。	Eメール	1月19日	V
144	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	素案は、自治会に対しても配布したのか？	自治会への配布は部数も限られており、行っておりません。素案については、窓口、市のWEBページ、支所、図書館で掲示したほか、市民説明会に出席された方へお渡ししました。	記載なし	窓口	1月19日	Y

NO	該当する計画部分	分類	素案ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書における参照・反映箇所	提出方法	收受日	提出者
145	その他	意見募集日程・手順、周知方法	—	説明会をゆとりを持って設定してほしい。できるだけ多くの市民が参加できるよう日時を設定してほしい。	内容もかなり充実したものとなった反面、計画書の分量も嵩み、ご負担をおかけしております。次回の計画策定時には、パブリックコメントに十分な期間を確保するよう努めます。	記載なし	郵送	1月20日	α
146	その他	介護保険制度	—	負担能力とは無関係に、施策の充実が負担に跳ね返る現行制度を抜本的に改めるよう、政府に求めてほしい。 低所得者に軽減措置を行っても、その跳ね返りが負担能力のない他の高齢者に行ってしまう。国の負担割合を現行の25%から少なくとも30%以上に引き上げてほしい。 認定制度を、医療保険制度を参考にした制度に改善してほしい。現在の認定制度は、申込者の身体・生活状態を知らない者が提出書類だけで判断している。	国への要望は、市長会として行っています。要望の内容については、担当課長会で議論し、合意したものを取りまとめています。	記載なし	郵送	1月20日	Z
147	その他	実態調査	—	費用が高く、サービスを受けることができない人もいると思うので、実態調査を検討してほしい。	本計画策定にあたり、ご提案の主旨に沿った調査を行いました。調査の結果、介護サービスを上限まで利用していない理由として「家族が介護しているから」が最も多く71.4%、次に多かった理由は「利用しているサービス量で充分と考える方」が42.9%でした。「経済的に負担が大きくなるから」という理由は18.8%と、3番目に多い回答でした。	「(1)介護保険サービスの利用状況」を参照してください。	説明会	1月11日	説明会出席者
148	その他	処遇改善交付金	—	これまで別枠だった介護報酬の待遇改善交付金の制度を継続するよう国に働きかけてほしい。	東京都市長会を通じ、介護報酬に組み入れられた場合は、国の負担割合を増額するよう、国に要望を行っています。	記載なし	Eメール	1月20日	T

NO	該当する 計画部分	分類	素案 ページ数	意見・提案等の概要	市の考え方	修正後の計画書にお ける参照・反映箇所	提出方 法	收受日	提出者
149	その他	処遇改善交 付金	—	<p>介護職員の待遇改善をはかるために、介護報酬とは別枠で人件費補助をおこなうよう、国に強く要望してほしい。</p> <p>理由：介護職員の待遇改善措置は、介護保険料の値上げに連動する介護報酬アップというやり方ではなく、今年度まで政府が実施してきたような仕組みを継続して行うべきである。</p>	<p>東京都市長会を通じ、介護報酬に組み入れられた場合は、国の負担割合を増額するよう、国に要望を行っています。</p>	記載なし	Eメール	1月20日	U